

# MTV2200 SX Series

## インストールマニュアル

V1.0J

MTV2200 SX Series  
インストールマニュアル  
Version 1.0J

August 9, 2002

Copyright © 2002 Canopus Co., Ltd.

All rights reserved.

**canopus**

## ご使用前に

### ■絵表示について

本製品を安全に正しくお使いいただくために、以下の内容をよく理解してから本文をお読みください。

### 警告

人が死亡または重傷を負う恐れのある内容を示しています。

### 注意

けがをしたり財産に損害を受ける恐れのある内容を示しています。

### ■絵表示の意味



この記号はしてはいけないことを表しています。



この記号はしなければならないことを表しています。



この記号は気をつける必要があることを表しています。

### ■ご購入製品を使用される際の注意事項

ここでは、ご購入製品を使用されるときにご注意いただきたい事柄について説明しています。

### 警告

#### ●健康上のご注意

ごくまれに、コンピュータのモニタに表示される強い光の刺激や点滅によって、一時的に「てんかん・意識の喪失」などが引き起こされる場合があります。こうした経験をこれまでになされたことがない方でも、それが起こる体質をもっていることも考えられます。こうした経験をお持ちの方は、本製品を使用される前に必ず医師と相談してください。

#### ●製品のご利用についての注意事項

医療機器や人命に関わるシステムでは、絶対にご利用にならないでください。製品の性質上、これらのシステムへの導入は適しません。



#### ●製品の取り付けおよび取り外しに関する注意事項

製品の取り付けおよび取り外しを行う場合、必ずパソコン本体および周辺機器の電源を切り、さらに電源ケーブルをコンセントから抜いた状態で行ってください。

パソコン本体および周辺機器の電源を入れたまま、製品を取り付けたり取り外したりした場合、製品やパソコン本体、周辺機器および周辺機器に接続されている機器の一部が破壊される恐れがあります。また、パソコン本体および周辺機器の電源ケーブルをコンセントから抜かず、パソコン本体や周辺機器の筐体(電源ユニットなど)、機器の金属部分に触れた場合には感電する恐れがあります。



#### ●静電気に関する注意事項

製品に静電気が流れると製品上の部品が破壊される恐れがあります。各コネクタや部品面には直接手を触れないでください。

静電気は衣服や人体からも発生します。製品に触れる前に、一旦接地された金属製のものに触れてください(体内の静電気を放電することになります)。



### 注意



#### ●消費電流に関する注意事項

複数の拡張ボードをパソコンに取り付けるときは、ご購入製品を含めたすべての製品の消費電流の合計がパソコンの最大供給電流を超えていないことを必ず確認してください。全ボードの消費電流の合計がパソコンの最大供給電流を超えたりするなどの動作条件を満たさない環境で使用し続けると、システムが正常に動作しない場合やシステムに負荷がかかり、パソコンが故障する原因となる恐れがあります。消費電流のわからない製品については、その製品の取扱説明書をご覧いただくか、メーカーに直接お問い合わせいただいでお確かめください。



#### ●他社製品と併用されるときのご注意

他社製品と併用されるとご購入製品が正常に動作しないことがあり、そのためにシステムが本来の目的を達成することができないこともあります。あらかじめ、製品単体の環境でご購入製品が正常に動作することをご確認ください。また、他社製品との併用によってご購入製品が正常に動作しないのであれば、その他社製品と購入製品との併用はお止めください。



## ●その他の注意事項

製品は指定された位置に指示通り取り付けてください。指示通りに取り付けられていない場合、製品の金属部分とパソコンの金属部分が接触してショートするなどの要因で、製品やパソコン本体・周辺機器が破壊される恐れがあります。製品を取り扱うときは、手など皮膚を傷つけないよう十分にご注意ください。ハードウェアの仕様上、製品のパネル、コネクタ、エッジ、裏面は金属のピンが、突出していることがあります。製品を取り付けたり取り外したりするときは、製品全体を軽く包み込むようにお持ちください。動作中の製品は熱により非常に熱くなります。長時間使用した製品に手を触れる際には、十分にご注意ください。



## ご注意

- (1) 本製品の一部または全部を無断で複製することを禁止します。
- (2) 本製品の内容や仕様は将来予告無しに変更することがあります。
- (3) 本製品は内容について万全を期して作成いたしましたが、万一ご不審な点や誤り、記載漏れなどお気付きの事がございましたら、当社までご連絡ください。
- (4) 運用した結果については、(3)項にかかわらず責任を負いかねますので、ご了承ください。
- (5) ご使用上の過失の有無を問わず、本製品の運用において発生した逸失利益を含む特別、付随的、または派生的損害に対するいかなる請求があったとしても、当社はその責任を負わないものとします。
- (6) 本製品付属のソフトウェア、ハードウェア、マニュアル、その他添付物を含めたすべての関連製品に関して、解析、リバースエンジニアリング、デコンパイル、ディスクアセンブリを禁じます。
- (7) カノープス、CANOPUS/カノープスおよびそのロゴは、カノープス株式会社の登録商標です。
- (8) Microsoft、Windowsは米国マイクロソフト・コーポレーションの登録商標です。また、その他の商品名やそれに類するものは各社の商標または登録商標です。
- (9) iEPGおよびiEPGロゴは、ソニー株式会社の商標です。



## 表記について

- 本書はMTV2200 SX/MTV2200 SX Lightのセットアップ手順、ソフトウェアのインストール方法および基本操作について説明しています。アプリケーション『MEDIACRUISE』の操作方法については、別冊のユーザーズマニュアルと、インストール後に作成されるオンラインマニュアルも併せてご参照ください。『DVD-Movie Album for Canopus』の操作法については、別冊のマニュアルをご参照ください。
- 本書に記載されていない情報が記載される場合がありますので、ディスクに添付のテキストファイル・オンラインマニュアルも必ずお読みください。
- 本書での説明と実際の運用方法とで相違点がある場合には、実際の運用方法を優先するものとします。
- 本書はパソコンの基本的な操作を行うことができる方を対象に書れています。特に記載の無い操作については、一般的なパソコンの操作と同じように行ってください。
- 本書ではMicrosoft® Windows® Millennium Edition operating systemおよびMicrosoft® Windows® 2000 operating system、Microsoft® Windows® XP operating systemをWindows Me、Windows 2000、Windows XPと表記します。
- 説明の便宜上、実際の製品とイラスト及び画面写真が異なる場合があります。画面写真は開発中のものです。
- 本書はMTV2200 SX、MTV2200 SX Lightとの共通マニュアルです。MTV2200 SX、MTV2200 SX Lightに共通の内容については、MTV2200 SX Seriesと表記しています。

ご使用方法や、この内容について不明な点、疑問点などがございましたら、カノープス株式会社テクニカルサポートまでお問い合わせください。

### カノープス株式会社

〒651-2241

神戸市西区室谷1-2-2

テクニカルサポート

TEL. 078-992-6830

祝祭日および当社指定休日を除く月～金

10:00～12:00、13:00～17:00

# 目次

## 第1章

## 確認

1

1. はじめに.....	2
使用許諾契約書について.....	2
ご使用に当たっての留意事項.....	2
パッケージ内容の確認.....	3
■MTV2200 SX Series同梱物.....	3
オンラインユーザー登録について.....	4
2. 動作環境の確認.....	5
パソコン本体について.....	5
対応OS環境.....	5
当社ホームページについて.....	6
制限事項について.....	6
■再生中の動作について.....	6
■キャプチャ時に必要な容量の例.....	6
■ファイルサイズについて.....	6
割り込み(IRQ)について.....	7
■割り込み(IRQ)の確認(Windows Meの場合).....	7
■割り込み(IRQ)の確認(Windows 2000の場合).....	8
■割り込み(IRQ)の確認(Windows XPの場合).....	9

1	MTV2200 SX Seriesの装着	12
	装着前の確認	12
	ボードのブラケット交換	13
	装着の手順	14
2	配線と接続	17
	MTV2200 SX Series 接続コネクタの名称と機能	17
	テレビチューナーユニット 接続コネクタの名称と機能	18
	■フロント部	18
	■リア部	19
	MTV2200 SXとテレビチューナーユニットの接続	20
	TV用アンテナ線の接続	21
	■壁面にアンテナ端子が付いている場合	21
	■アンテナ線が1本の場合	21
	■アンテナ線が2本の場合	21
	■アンテナ線に平行フィード線を使用している場合	22
	テレビチューナーユニットとビデオ入力端子の接続	22
	MTV2200 SXボードとビデオ入力端子の接続	23
	テレビチューナーユニットとオーディオ入力端子の接続	24
	MTV2200 SXボードとオーディオ入力端子の接続	25
	オーディオ出力端子の接続	26

1	インストール	28
	準備	28
	アプリケーションの一括インストール	29
	MEDIA CRUISEのインストール	31
	TBOXのインストール	34
	MTV2200 SX Series アプリケーションのインストール	36
	CiRAgentのインストール	40
	■CiRAgentの設定	42

2	インストール後の確認	45
	確認の手順	45
	■インストール後の確認(Windows Meの場合)	45
	■インストール後の確認(Windows 2000の場合)	46
	■インストール後の確認(Windows XPの場合)	47
	リソース	48
	■リソースの競合の確認	48
	■リソース(割り込み)の変更	48
3	アンインストール	49

## 第4章 TBOX Control

51

1	TBOX Controlの機能	52
	TBOX Controlを起動する	52
	TBOX Controlの各部の名称と機能	52
	TBOX Controlの終了	53
	■Option設定で使用するタブについて	53
	チャンネルの設定	56
	テレビを見る	57
	チャンネルボタンの割り当てを変更	58

### アイコンについて

各ページの左上、右上にあるアイコンは『MTV2200 SX』もしくは、『MTV2200 SX Light』を表しています。[SX]アイコンは『MTV2200 SX』を、[Light]アイコンは『MTV2200 SX Light』を表し、各々の製品に関連する内容であることを表しています。お買い求めいただいた製品にあわせてご覧ください。

※ MTV2200 SX Lightにはテレビチューナー機能はありません。



# 第 1 章

## 確 認

この章では、MTV2200 SX Seriesのセットアップを行う前に確認していただきたい事項やご注意いただきたい事項について説明します。

- |            |       |
|------------|-------|
| 1. はじめに    | 2 ページ |
| 2. 動作環境の確認 | 5 ページ |

本製品を使用して他人の著作物（例：CD・DVD・ビデオグラム等の媒体に収録されている、あるいはラジオ・テレビ放送又はインターネット送信によって取得する映像・音声）を録音・録画する場合の注意点は下記の通りとなります。

- 著作権上、個人的又は家庭内において著作物を使用する目的で複製をする場合を除き、その他の複製あるいは編集等が著作権を侵害することがあります。収録媒体等に示されている権利者、放送、送信、販売元または権利者団体等を介するなどの方法により、著作者・著作権者から許諾を得て複製、編集等を行う必要があります。
- 他人の著作物を許諾無く複製または編集して、これを媒体に固定して有償・無償を問わず譲渡すること、またはインターネット等を介して有償・無償を問わず送信すること（自己のホームページの一部に組み込む場合も同様です）は、著作権を侵害することになります。
- 本製品を使用して作成・複製・編集される著作物またはその複製物につきましては当社は一切責任を負いかねますので予めご了承ください。



Light

# 1. はじめに

## 使用許諾契約書について

MTV2200 SX Seriesをご購入いただき、ありがとうございます。本製品をお使いいただくにあたって、まずはじめに付属の『Support Service Manual』のソフトウェア使用許諾契約書をお読みください。本製品に付属のソフトウェアをご利用いただくには、この使用許諾契約書の内容にご同意いただく必要があります。この使用許諾契約にご同意いただけない場合や、ご不明な点がありましたら、本書以外のパッケージを開封せずに下記カスタマーサポートまで書面にてご連絡ください。

このソフトウェア使用許諾契約は、お客様が『ディスクが入っている封筒』を開封された時点で内容にご同意いただいたものとさせていただきます。

カノーブス カスタマーサポート

〒651-2241 神戸市西区室谷1-2-2 カノーブス株式会社

## ご使用に当たっての留意事項

ご使用上の過失の有無を問わず、本製品の運用において発生した逸失利益を含む特別、付随的、または派生的損害に対するいかなる請求があったとしても、当社はその責任を負わないものとします。

製品本来の使用目的および当社が提供を行っている使用環境以外での動作は保証いたしかねます。

CPUなどを定格外でご使用の場合、本製品の動作保証は一切いたしかねます。



## パッケージ内容の確認

MTV2200 SX Seriesのパッケージの中に、p. 3～p. 4の付属品が入っていることを確認してください。製品の梱包には万全を期しておりますが、万一、不足しているものがありましたら下記カスタマーサポートまでご連絡ください。

カノープス カスタマーサポート

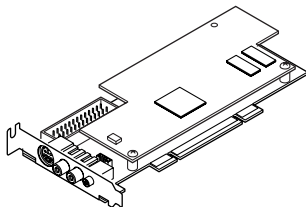
電話：078-992-5846

※ 月曜～金曜 10:00～12:00/13:00～17:00

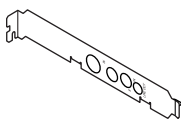
土日祝日および当社指定休日を除く

### ■ MTV2200 SX Series 同梱物

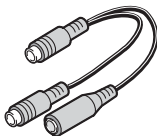
#### ボード本体



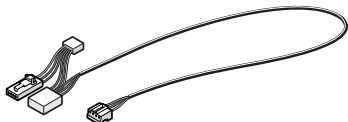
#### 標準PCIバス装着用ブラケット



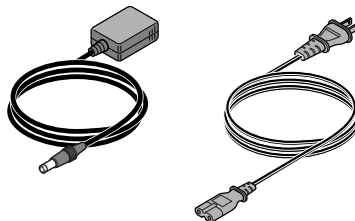
#### S/コンポジット二股ケーブル



#### サウンドカード内部接続ケーブル

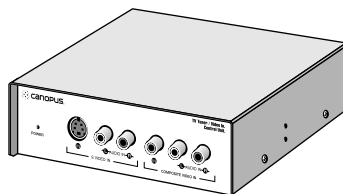


#### チューナーユニット用ACアダプタ



※MTV2200 SX Lightには同梱されていません。

#### テレビチューナーユニット



※MTV2200 SX Lightには同梱されていません。

#### 各種ケーブル

MTV2200 SX Seriesとテレビチューナーユニットを接続するケーブルです。

- Sビデオケーブル
- コンポジットビデオケーブル
- オーディオケーブル
- USBケーブル (MTV2200 SX Lightには同梱されていません。)



Light

## ディスク/バンドルソフトウェア

MTV2200 SX Seriesをお使いいただくためのドライバやアプリケーションなどが付属しています。これらは、封筒の中に収められています。この封筒を開封する前に、別途付属している『Support Service Manual』の中のソフトウェア使用許諾契約の項目をお読みください。付属しているディスクについては、封筒内の『MTV2200 SXに付属のメディア』もしくは『MTV2200 SX Lightに付属のメディア』をご参照ください。

## マニュアル

- MTV2200 SX Seriesインストールマニュアル(本書)
- MTV2200 SX Seriesユーザーズマニュアル
- DVD-Movie Album for Canopus マニュアル ※ MTV2200 SX Lightには同梱されていません。
- Support Service Manual

## ユーザー登録カード・ユーザー登録控え兼製品保証書

本製品に関するさまざまなサービスをお受けいただくために、ぜひユーザー登録を行ってください(ご登録いただけない場合には、一部のサービスについてお受けいただけないものがございます)。当社よりご提供させていただいているサービスについては『Support Service Manual』をご覧ください。

ユーザー登録カードの各項目に必要な事項を記入し、ユーザー控えの部分を切り離して切手を貼らずにポストへ投函してください。切り離れたユーザー控えは、ご購入いただきました製品の所有者であることを証明するものになりますので、本書と併せて大切に保管してください。また、本製品は当社ホームページにおいてオンラインユーザー登録も承っております。詳しくは『Support Service Manual』およびオンラインユーザー登録ページ(<http://www.canopus.co.jp/tech/regist.htm>)をご覧ください。

本製品の保証書は、ユーザー登録カード・ユーザー登録控えとの兼用となっています。ユーザー登録控え兼製品保証書は、製品の動作確認や修理をお受けいただく際に必要になります。紛失された場合でも再発行はいたしませんので、大切に保管してください。

## オンラインユーザー登録について

お客様がインターネットに接続できる環境であれば、ユーザー登録カードをご投函いただくことなく当社ホームページ上でユーザー登録することができます。オンラインユーザー登録ページ(<http://www.canopus.co.jp/tech/regist.htm>)にアクセスしていただき、是非ご登録ください。

## 2. 動作環境の確認

本製品をお使いいただく前に、MTV2200 SX Seriesを装着してお使いいただけるパソコン本体の環境を確認してください。

### パソコン本体について

以下の条件を満たしている場合でも、パソコン本体の問題によって正常に動作しない場合があります。以下に書かれている条件を満たしているすべてのパソコンでの動作を保証しているものではありません。

PC本体	<p>本製品をお使いいただくために最低限必要な環境で、この環境では付属ソフトウェアが動作しない場合があります。</p> <p>IRQの空きが1つ必要 PCIバス (Ver 2.1準拠) CD-ROMドライブ (※インストール時に必要)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・1/4解像度 (352×240ピクセル、2Mbps) での録画・再生・タイムシフトに必要：Pentium II 300MHz以上</li> <li>・1/2解像度 (352×480ピクセル、3Mbps) での録画・再生・タイムシフトに必要：Pentium III 450MHz以上</li> <li>・標準画質 (720×480ピクセル、5Mbps) での録画・再生・タイムシフトに必要：Pentium III 600MHz以上</li> <li>・高画質 (720×480ピクセル、8Mbps) での録画・再生・タイムシフトに必要：Pentium III 866MHz以上</li> </ul>
メモリ	128MB以上
ハードディスク	UltraATA 33以上の転送速度を持つもの (UltraATA 100以上の転送速度を持つものを推奨)
ディスプレイカード	800×600ドット・HighColor以上の表示ができ、DirectDrawのオフスクリーンによるオーバーレイに対応したもの (当社製SPECTRAシリーズを推奨)
サウンドシステム	WDMドライバで動作し、アナログライン入力を持つもの (48kHz出力に対応するものを推奨)

### 対応OS環境

- マイクロソフト Windows Millennium Edition日本語版
- マイクロソフト Windows 2000 Professional日本語版
- マイクロソフト Windows XP Home Edition日本語版
- マイクロソフト Windows XP Professional日本語版



Light

## 当社ホームページについて

MTV2200 SX Seriesをはじめとする当社の最新情報をホームページ(<http://www.canopus.co.jp>)にて発信しています。最新のドライバ、ユーティリティ、製品マニュアル(PDF形式)、FAQなどを公開していますので、当社ホームページに是非アクセスしていただき、快適なパソコン環境を実現してください。

## 制限事項について

### 再生中の動作について

ハードディスクのシークなどによる音の途絶・画像のコマ落ちが発生する場合があります。再生時のパフォーマンスは、お使いのパソコン環境により異なります。

### キャプチャ時に必要な容量の例

MTV2200 SX Seriesを使用してキャプチャを行った場合、1分間のファイルサイズはおよそ以下のようになります。キャプチャ時の参考にしてください。

画質 (MPEG2)	Video Bit Rate	Audio Bit Rate	1分間のサイズ
高画質	8000kbit/sec	224kbit/sec	約46MB
普通	5000kbit/sec	224kbit/sec	約37MB
1/2 解像度	3000kbit/sec	224kbit/sec	約25MB
1/4 解像度	2000kbit/sec	224kbit/sec	約17MB
MPEG1	1500kbit/sec	224kbit/sec	約13MB

### ファイルサイズについて

Windows Me / Windows 2000 / Windows XP でFAT32をご使用の環境では、ドライブの残り容量がなくなるまでファイルを自動的に4GBごと分割保存し、録画を続けることができます。

FAT32環境でご使用の場合、4GBでキャプチャ可能な時間はおよそ以下のようになります。キャプチャ時の参考にしてください。

その他、Readme、当社ホームページ等をご覧ください。

画質 (MPEG2)	Video Bit Rate	Audio Bit Rate	4GBで可能な時間
高画質	8000kbit/sec	224kbit/sec	約1時間5分
普通	5000kbit/sec	224kbit/sec	約1時間45分
1/2 解像度	3000kbit/sec	224kbit/sec	約2時間50分
1/4 解像度	2000kbit/sec	224kbit/sec	約4時間
MPEG1	1500kbit/sec	224kbit/sec	約5時間10分
Video CD	1150kbit/sec	224kbit/sec	約6時間10分

## 割り込み(IRQ)について

本製品をご使用いただくには、IRQの空きが1つ以上あることを推奨します。

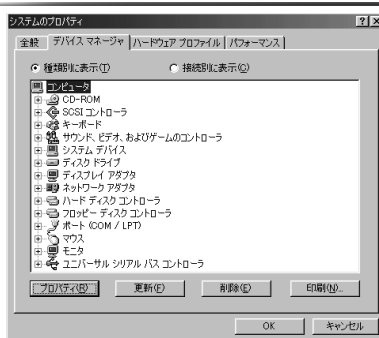
### ■ 割り込み(IRQ)の確認(Windows Meの場合)

# 1

[スタート]メニューから[設定]→[コントロールパネル]へ進み、[システム]のアイコンをダブルクリックしてください。

# 2

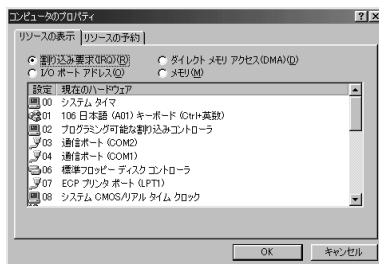
システムのプロパティの[デバイスマネージャ]タブを選択し、[プロパティ]ボタンをクリックしてください。



# 3

コンピュータのプロパティの[リソースの表示]タブを選択し、[割り込み要求]のラジオボタンにチェックをつけてください。

→ 割り込み(IRQ)の空いている(使用されていない)番号を確認します。

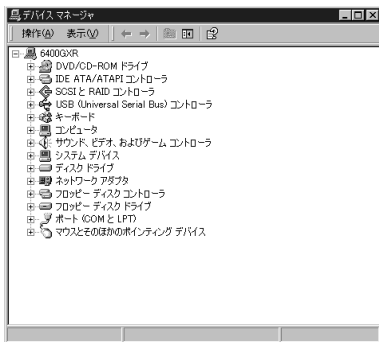


## ■ 割り込み (IRQ) の確認 (Windows 2000 の場合)

1

[スタート]メニューから[設定]→[コントロールパネル]へ進み、[システム]のアイコンをダブルクリックし、[システムのプロパティ]を表示してください。

→ [ハードウェア]タブの[デバイスマネージャ]をクリックします。



2

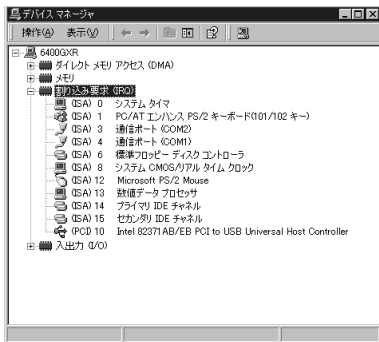
デバイスマネージャの[表示]メニューから[リソース(種類別もしくは接続別)]を選択してください。



3

[割り込み要求 (IRQ)] をダブルクリックしてください。

→ 割り込み (IRQ) の空いている (使用されていない) 番号を確認します。

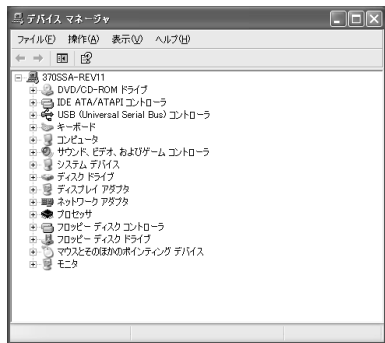


## ■ 割り込み (IRQ) の確認 (Windows XP の場合)

### 1

[スタート]メニューの[コントロールパネル]から[パフォーマンスとメンテナンス]へ進み、[コンピュータの基本的な情報を表示する]を選択してください。もしくは[スタート]メニューのマイコンピュータ上で右クリックし、[プロパティ]を選択してください。

→ [ハードウェア]タブの[デバイスマネージャ]をクリックします。



### 2

デバイスマネージャの[表示]メニューから[リソース(種類別もしくは接続別)]を選択してください。



### 3

[割り込み要求 (IRQ)]をダブルクリックしてください。

→ 割り込み (IRQ) の空いている (使用されていない) 番号を確認します。





第  
1  
章

2  
動作環境の  
確認



## 第 2 章

### ボードの装着

この章では、MTV2200 SX Series をパソコンへ装着する方法および装着した MTV2200 SX Series への配線と接続方法について説明します。

- |                          |        |
|--------------------------|--------|
| 1. MTV2200 SX Series の装着 | 12 ページ |
| 2. 配線と接続                 | 17 ページ |

# 1. MTV2200 SX Seriesの装着

ボードの装着を行う前に、作業を行うことができるほどの乾いたスペースを準備してください。また、プラスドライバー、マイナスドライバーと取り外したねじを入れておく空き箱を用意してください。

## 装着前の確認

テレビ受信用のアンテナとアンテナケーブルをご用意ください。  
アンテナケーブルは、市販のF型コネクタプラグ付きアンテナケーブルが、先端にF型コネクタを取り付けたアンテナケーブルを使用してください。



F型コネクタプラグ



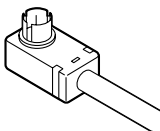
F型コネクタプラグ付きアンテナケーブル

F型コネクタプラグやF型コネクタプラグ付きアンテナケーブルは、本製品には付属していませんので、ご使用のアンテナ線に合わせて、別途お買い求めください。



Important

アンテナ線とテレビチューナーユニットを接続するときは、F型コネクタプラグ付きのアンテナケーブルを使用することをお勧めします。  
下図に示す形状のプラグをパソコンとの接続に使用した場合、ノイズの影響を受けやすいため、テレビ放送の受信が正常に行われない場合があります。



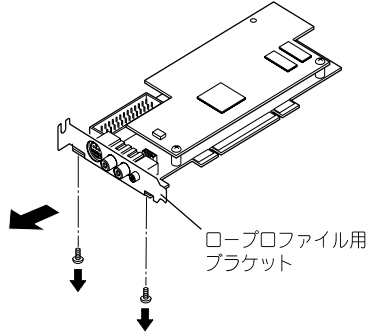
## ボードのブラケット交換

MTV2200 SX Seriesはボードのブラケットを交換することで、ブラケット幅の広いタイプのパソコンにも装着できます。  
ご使用になるパソコンのタイプを確認し、必要があればブラケットを交換してください。

### 1

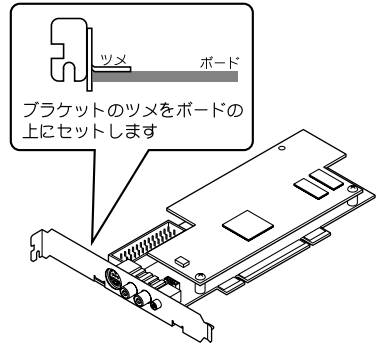
ボードからロープロファイル用ブラケットを外してください。

→ ブラケットを固定している2本のネジを、ボードの下から取り外します。取り外したネジは手順③で使用します。



### 2

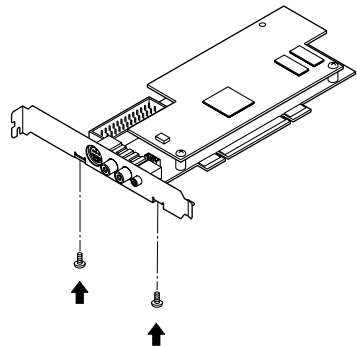
ボードに標準PCIバス装着用ブラケットをセットしてください。



### 3

手順①で取り外したネジでロープロファイルブラケットをボードに固定してください。

→ ボードの下からネジを取り付けます。



## 装着の手順

MTV2200 SX Seriesをパソコンに装着する手順を説明します。

**1** パソコンを終了して電源を切ってください。

**2** 電源ケーブル、およびその他ケーブルを取り外してください。



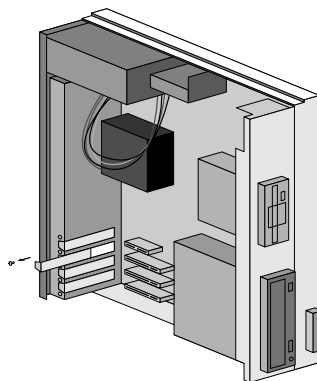
取り外す際に、どのケーブルがどのコネクタに接続されていたか、メモをしておくと後で元に戻す際に便利です。

**3** パソコンのカバーを取り外してください。

→ 取り外し方法については、パソコン本体に付属のマニュアルをご覧ください。

**4** PCIスロットのカバーを取り外してください。

→ ドライバーを使用して、PCIコネクタの位置のスロットカバーを固定しているねじを取り外してください。取り外したねじは手順6で使用しますので、空き箱になくさないように入れておいてください。取り外したスロットカバーは使用しませんので、なくさないように保管してください。



他のボードのノイズの影響を可能な限り避けるために、他のボードと離れた位置(たとえば一番端にあるPCIスロット)に装着することをお勧めします。

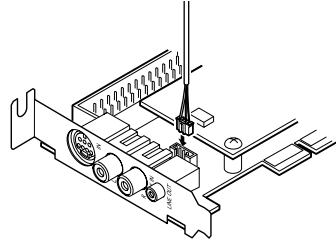
# 5

MTV2200 SX Seriesとサウンドボードを内部接続する場合、付属の内部接続ケーブルを使用して接続してください。

MTV2200 SX Seriesにはコネクタが1個のみの側を接続します。サウンドボードにより、コネクタの形状やピン配列が異なります。3個のコネクタのうち、形状と配列が一致するものをサウンドボードに接続してください。

→ MTV2200 SX Seriesの基板にあるAUDIO OUT端子とサウンドボードの基板にあるAUDIO INなどの入力端子(サウンドボードにより呼称は異なります)に接続します。接続時には、コネクタの形状、コード色に気をつけてください。一般的なサウンドボードでは、コネクタにR、L、G、などと刻印されています。左記のように接続してください。

※ 外部接続する場合は、この作業は必要ありません。



赤：右チャンネル(R)  
白：左チャンネル(L)  
黒：グラウンド(G)

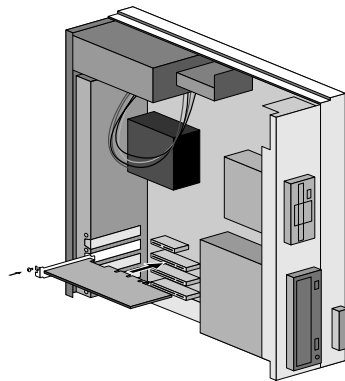


内部接続ケーブルの接続方向を間違わないように気をつけてください。内部接続ケーブルの接続を間違えると、片側のスピーカーから音が出ない、左右の位相が入れ替わるなどの問題が発生します。

# 6

MTV2200 SX SeriesをPCIスロットに差し込み、手順4で取り外したねじを使用して、MTV2200 SX Seriesのスロットカバーを固定してください。

→ 金メッキ端子が見えなくなるまでしっかり差し込んでください。何かに引っかかってうまく差し込むことができない場合には、無理に押し込まないようにしてください。この場合、MTV2200 SX Seriesを一度取り外し、引っかかりの原因を確認してください。





Important

どうしても何かに引っかかって装着することができない場合には、物理的な問題でMTV2200 SX Seriesを使用することはできません。MTV2200 SX SeriesはPCIの規格によって設計されているボードですので、パソコン本体に何らかの問題がある可能性があります。この場合には一度パソコン本体メーカーまたはマザーボードメーカーまで対策をご相談ください。



Important

スロットカバーとパソコンの背面パネルの間に隙間があると受信信号にノイズが混入し、映像に縞が入るなどの影響がより大きくなる場合があります。スロットカバーとパソコンの背面パネルの間の隙間は必ず埋めてください。  
また、空いているスロットのスロットカバーと、パソコン本体のカバーも確実に閉めてください。

パソコンカバーを閉じ、電源ケーブルおよび取りはずしたケーブル類を接続してください。

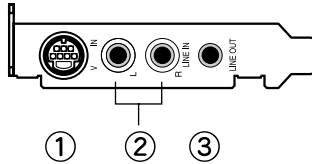
以上でボードの装着は完了です。

## 2. 配線と接続

MTV2200 SX Seriesとテレビチューナーユニットの接続、テレビチューナーユニット接続コネクタへの配線と接続方法について、説明します。

### MTV2200 SX Series 接続コネクタの名称と機能

MTV2200 SX Seriesには以下の接続コネクタがあります。



#### ① VIDEO IN(ビデオ入力端子)

Sビデオ入力端子です。

同梱のS/コンポジット二股ケーブルを利用してコンポジット入力することもできます。

#### ② LINE IN L/R(オーディオ入力端子)

音声入力端子です。

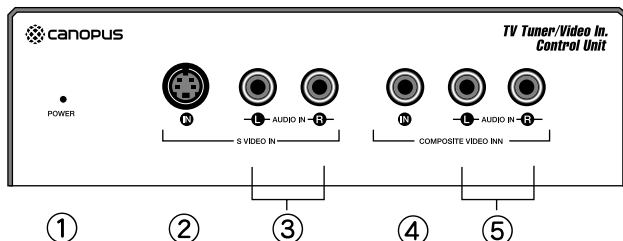
ビデオなどの接続機器の音声出力端子と接続します。

#### ③ LINE OUT(オーディオ出力端子)

音声出力端子です。サウンドカードに接続する場合、この端子とサウンドボード側のライン入力端子とを接続します(サウンドカードとの内部接続を行っている場合は、何も接続しないでください)。

# テレビチューナーユニット接続コネクタの名称と機能

## ■ フロント部



### ① POWER LED

ACアダプタおよびUSBが正常に接続されている場合は、橙色に点灯します。本製品はACアダプタのみ(LEDが緑色に点灯)もしくはUSBのみ(LEDが赤色に点灯)接続されている状態では正常動作しません。ACアダプタおよびUSBの両方を接続した状態で必ずお使いください。

### ② Sビデオ入力端子

映像ソースを入力するSビデオ接続端子です。接続時は、端子の形状をよくご確認ください。

### ③ オーディオ入力端子(左/右)

音声ソースを入力する接続端子です(RCAピンジャック)。Sビデオ入力端子と連動します。

### ④ コンポジットビデオ入力端子

映像ソースを入力するコンポジット接続端子です。

### ⑤ オーディオ入力端子(左/右)

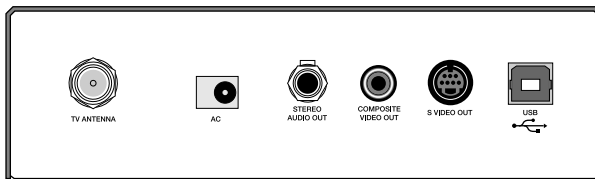
音声ソースを入力する接続端子です(RCAピンジャック)。コンポジットビデオ入力端子と連動します。



フロント部およびリア部に接続したケーブル類のとり回しおよびテレビチューナーユニット本体の設置場所には十分ご注意ください。ケーブル類に引っかかるなどの要因により、テレビチューナーユニット本体が落下してけがをする恐れがあります。また、テレビチューナーユニット本体の落下は故障の原因となります。



## ■ リア部



- ①                      ②                      ③                      ④                      ⑤                      ⑥

### ① TVアンテナ接続端子

TV受信用アンテナの接続端子です。

### ② ACアダプタ接続端子

付属のACアダプタ接続端子です。本製品はUSB接続のみでは動作しませんので、ACアダプタもあわせて必ずご使用ください。製品付属のACアダプタ以外は絶対にご使用にならないでください。

### ③ オーディオ出力端子

音声を出力する接続端子です(ステレオミニジャック)。サウンドカードやキャプチャカードの音声入力端子と接続します。

### ④ コンポジットビデオ出力端子

映像を出力するコンポジット接続端子です。テレビチューナーユニットからの出力はこの端子からのみ可能です。

### ⑤ Sビデオ出力端子

映像を出力するSビデオ接続端子です。接続時は、端子の形状をよくご確認ください。この端子からのテレビチューナー出力は行えません。

### ⑥ USB端子

USBケーブルを使用し、パソコンのUSB端子と接続する端子です。テレビチューナーユニットのアプリケーションの制御に利用します。

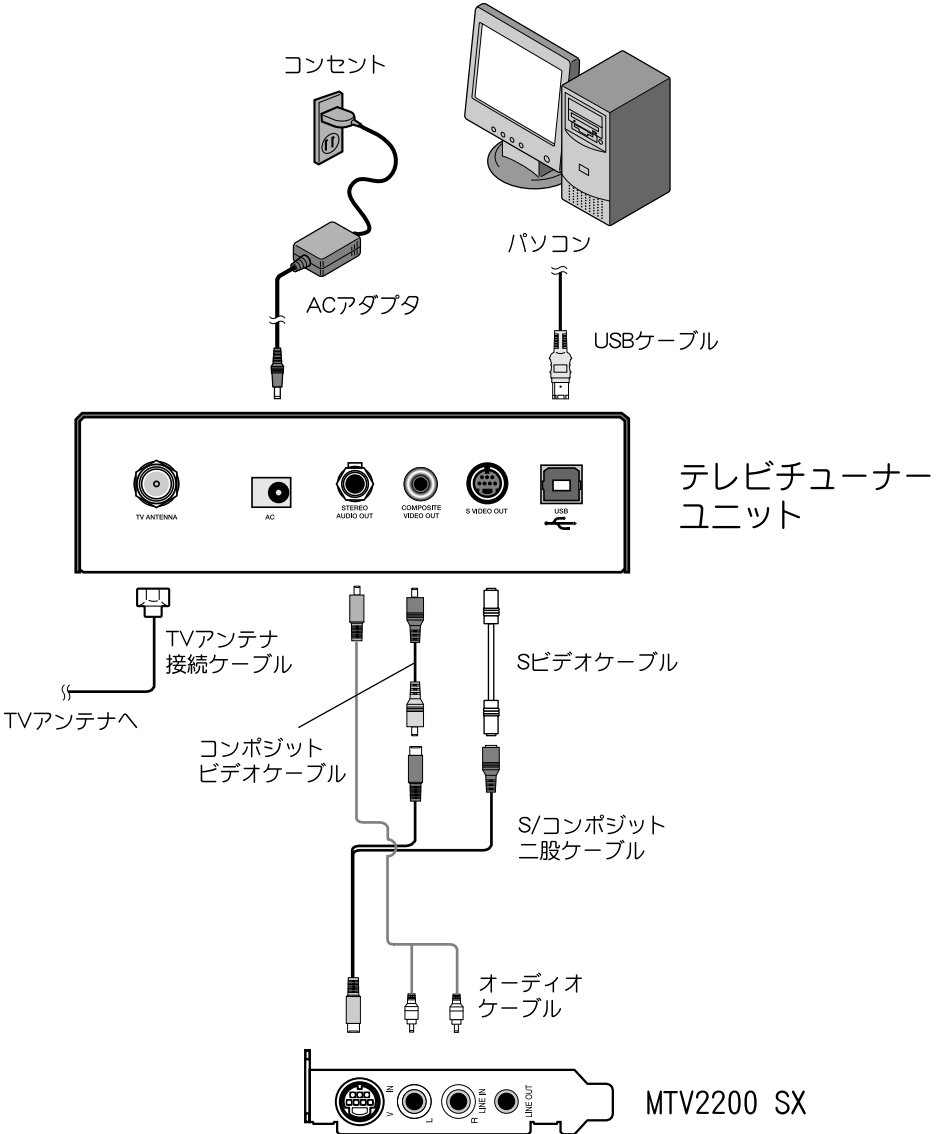


テレビチューナーユニットからの出力は、コンポジット端子からのみ可能です。

Sビデオ入力端子に接続した映像ソースをコンポジットビデオ出力することはできません。同様にコンポジット入力端子に接続した映像ソースをSビデオ出力することもできません。

## MTV2200 SXとテレビチューナーユニットの接続

MTV2200 SXとテレビチューナーユニットの接続は、下図を参照して接続してください。  
TVアンテナ接続ケーブルについては、別途ご用意ください。

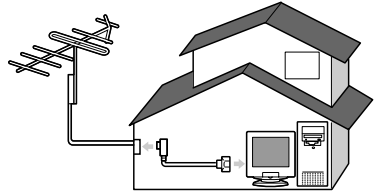


## TV用アンテナ線の接続

テレビ受信用アンテナの接続を行います。  
現在使用しているアンテナ線の種類によって、接続方法が変わります。以下の接続方法の中から、現在使用している環境に合った手順を見つけ、その手順に合わせて接続を行ってください。

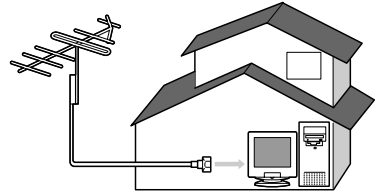
### ■ 壁面にアンテナ端子が付いている場合

壁面にアンテナ端子だけがある場合は、F型コネクタプラグ付きアンテナケーブルを使用します。テレビチューナーユニット側のTVアンテナ接続端子にF型コネクタプラグの付いた方を接続します。



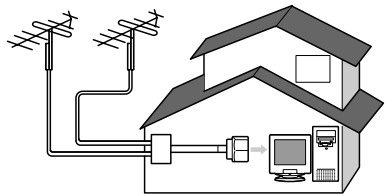
### ■ アンテナ線が1本の場合

アンテナ線が1本(UHF、VHFのみ、またはUHF/VHF混合)だけの場合は、アンテナ線の先端にF型コネクタプラグを取り付け、テレビチューナーユニット側のTVアンテナ接続端子に接続します。



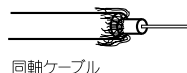
### ■ アンテナ線が2本の場合

アンテナ線が2本(UHFとVHF)の場合は、F型コネクタプラグの他に、U/V混合器が必要です。U/V混合器を取り付けてアンテナ線を1本にし、アンテナ線の先端にF型コネクタプラグを取り付け、テレビチューナーユニット側のTVアンテナ接続端子に接続します。



## ■ アンテナ線に平行フィーダ線を使用している場合

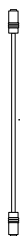
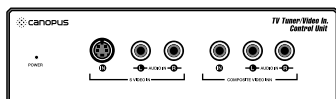
アンテナ線に平行フィーダ線(右図参照)を使用している場合は、F型コネクタプラグの他に、整合器が必要です。整合器を使用してアンテナ線を同軸ケーブルに変更してください。整合器の詳細については、ご購入時に販売店などでご確認ください。



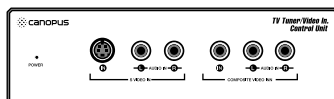
分配器を使用して、アンテナ線を複数の機器に接続することも可能です。分配した配線の1本に、F型コネクタプラグを取り付け、テレビチューナーユニットのTVアンテナ接続端子に接続します。ただし、分配によって信号が弱くなる場合などは、アンテナブースターが必要になることもあります。詳しくは、分配器、アンテナブースター購入時にご確認ください。

## ■ テレビチューナーユニットとビデオ入力端子の接続

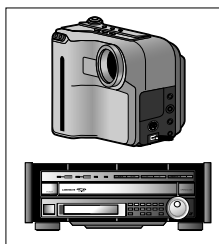
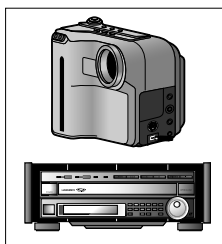
外部ビデオ機器の出力を録画したい場合には、SビデオケーブルでテレビチューナーユニットのSビデオ入力端子へ、もしくはコンポジットビデオケーブルでコンポジットビデオ入力端子へ接続します。



Sビデオケーブル

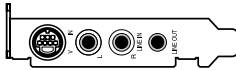


コンポジットビデオケーブル

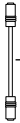


## MTV2200 SXボードとビデオ入力端子の接続

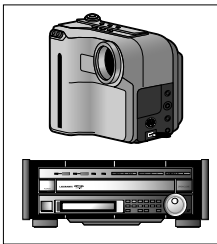
MTV2200 SXボードのみで外部ビデオ機器の出力を録画したい場合には、S/コンポジット二股ケーブルとSビデオケーブルを接続し、Sビデオ入力端子へ接続するか、コンポジットビデオケーブルを接続してコンポジットビデオ入力端子へ接続します。



S/コンポジット二股ケーブル



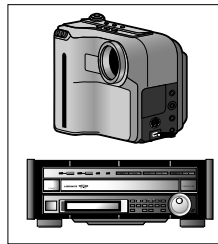
Sビデオケーブル



S/コンポジット二股ケーブル

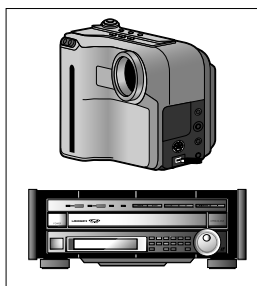
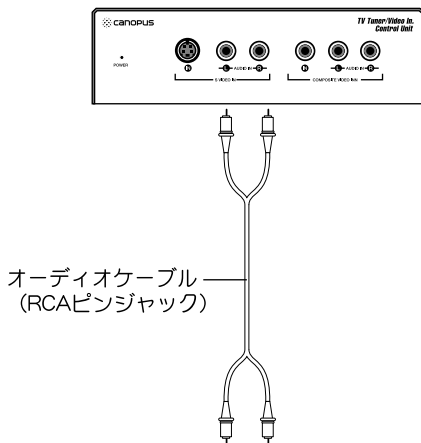


コンポジットビデオケーブル



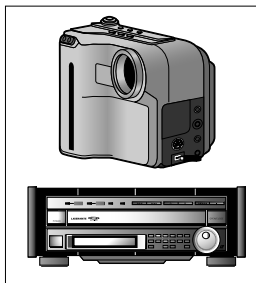
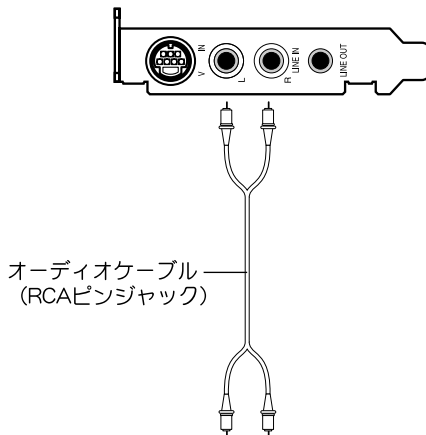
## テレビチューナーユニットとオーディオ入力端子の接続

テレビチューナーユニットのLINE IN端子(R、Lの2箇所)とビデオなどのライン出力端子を接続します。接続時は、テレビチューナーユニットのLINE IN端子のR側に、接続する機器のライン出力端子のR側が、LINE IN端子のL側に、接続する機器のライン出力端子のL側が来るように接続してください。



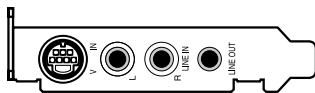
## MTV2200 SXボードとオーディオ入力端子の接続

MTV2200 SXボードのLINE IN端子(R、Lの2箇所)とビデオなどのライン出力端子を接続します。接続時は、MTV2200 SXボードのLINE IN端子のR側に、接続する機器のライン出力端子のR側が、LINE IN端子のL側に、接続する機器のライン出力端子のL側が来るように接続してください。

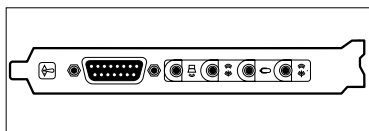


## オーディオ出力端子の接続

MTV2200 SXボードとサウンドボードを外部接続する場合、MTV2200 SXボードのLINE OUT 端子とサウンドボードのライン入力端子を接続します。  
内部接続を行っている場合はこの接続は必要ありません。



オーディオケーブル  
(ステレオミニジャック)



MTV2200 SXボードとサウンドボードは、内部接続/外部接続いずれかの方法で必ず接続してください。  
接続していない場合は、TV受信時や外部ビデオ入力時の音声がなくなります。



## 第 3 章

### インストール

この章では、MTV2200 SX Seriesのドライバとアプリケーションのインストール方法について説明します。インストール操作の流れについては下記の手順を参照してください。

- |               |        |
|---------------|--------|
| 1. インストール     | 28 ページ |
| 2. インストール後の確認 | 45 ページ |
| 3. アンインストール   | 49 ページ |

#### 1

##### 準備

インストール作業の準備を行います。

#### 2

##### アプリケーションのインストール

一括で全てのアプリケーションをインストールする方法と、個別にインストールする方法があります。『MTV2200 SX Light』をお使いの場合で、TBOX(オプション)をお持ちでない方は『TBOX』、『CiRAgent』のインストールはキャンセルしてください。

- 一括でインストールする場合→P. 29
- MEDIACRUISEのみインストールする場合→P. 31
- TBOXのみインストールする場合→P. 34
- MTV2200 SXのみインストールする場合→P. 36
- CiRAgentのみインストールする場合→P. 40

#### 3

##### インストール後の確認

インストールが正しくされているかを確認します。ご使用になるパソコンのOS別に確認方法を記載しています。

# 1. インストール

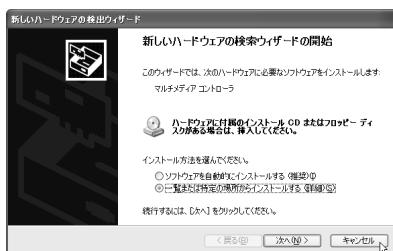
## 準備

インストール作業を開始する前に、現在起動しているすべてのアプリケーションや常駐ソフトウェアを終了してください。ここではWindows XP環境での手順を例に説明します。

※ お使いのOSにより画面は異なります。

### 1

ボードを装着してパソコンを起動すると、ハードウェアウィザードが起動しますので、[キャンセル]をクリックしてください。



infファイルを使用してドライバのインストールを行う場合は、『MTV Series Drivers and Utilities CD』の[Driver]フォルダ内の[Mtvkml.inf]を指定してください。ドライバのインストール完了後に必ずコンピュータの再起動を行ってください。

## アプリケーションの一括インストール

MTV2200 SX Seriesに関連する全てのアプリケーションを一括でインストールします。Windows Me/Windows 2000/Windows XPとも同様の手順でインストールを行います。ここでは、Windows XP環境へのインストールを例に説明します。

- ※ Windows 2000/Windows XP環境へインストールする場合は、システム設定の変更を行える資格を持つユーザーID(Administrator、コンピュータの管理者等)でログインしてください。
- ※ インストール作業を開始する前に、現在起動しているすべてのアプリケーションや常駐ソフトウェアを終了してください。

### 1

『MTV Series Drivers & Utilities CD』をCD-ROMドライブにセットしてください。

※ ここではCD-ROMドライブをE:ドライブとして説明します。



全てのインストールが終了するまで、『MTV Series Drivers & Utilities CD』をCD-ROMドライブから取り出さないでください。

### 2

[スタート]メニューから[マイコンピュータ]を選択してください。

※ Windows Me/Windows 2000環境では、[スタート]メニューから[プログラム]→[アクセサリ]→[エクスプローラ]と進んで、『エクスプローラ』を起動します。

### 3

CD-ROMを挿入したドライブ(E:ドライブ)を選択して開いてください。

## 4

[SetupMgr.exe]をダブルクリックしてください。

→ インストール画面と、インストール作業についての画面が表示されます。



一括インストール時には、次のインストール画面が表示されます。



インストール中にこの画面を閉じると、インストール作業を中止してしまいますので、画面を閉じないようにしてください。

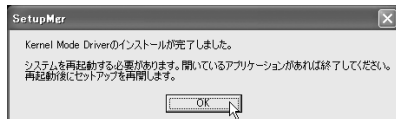
## 5

[続行]をクリックしてください。



## 6

設定を有効にするためコンピュータの再起動を要求してきますので、[OK]をクリックして再起動を行ってください。



## 7

再起動後、画面の指示にしたがってインストールを行ってください。インストール時に表示されるメッセージについては、アプリケーションの個別インストールをご覧ください。



「MEDIACRUISEのインストール」31 ページ

「TBOXのインストール」34 ページ

「MTV2200 SX Seriesアプリケーションのインストール」36 ページ

「CiRAgentのインストール」40 ページ

## MEDIACRUISEのインストール

MEDIACRUISEをインストールします。『SetupMgr.exe』からインストールしている場合は、手順1～4は必要ありません。ここでは、Windows XP環境へのインストールを例に説明します。

- ※ Windows 2000/Windows XP環境へインストールする場合は、システム設定の変更を行える資格を持つユーザーID(Administrator、コンピュータの管理者等)でログインしてください。
- ※ インストール作業を開始する前に、現在起動しているすべてのアプリケーションや常駐ソフトウェアを終了してください。

**1**

『MTV Series Drivers & Utilities CD』をCD-ROMドライブにセットしてください。

※ ここではCD-ROMドライブをE:ドライブとして説明します。

**Important**

MEDIACRUISEのインストールが終了するまで、『MTV Series Drivers & Utilities CD』をCD-ROMドライブから取り出さないでください。

**2**

[スタート]メニューから[マイコンピュータ]を選択してください。

※ Windows Me/Windows 2000環境では、[スタート]メニューから[プログラム] → [アクセサリ] → [エクスプローラ]と進んで、『エクスプローラ』を起動します。

**3**

CD-ROMを挿入したドライブ(E:ドライブ)を選択して開いてください。

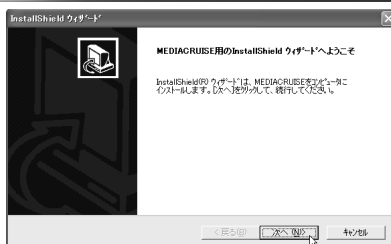
**4**

[MEDIACRUISE]フォルダ内の[Setup.exe]をダブルクリックしてください。

→ インストール作業についての画面が表示されます。

**5**

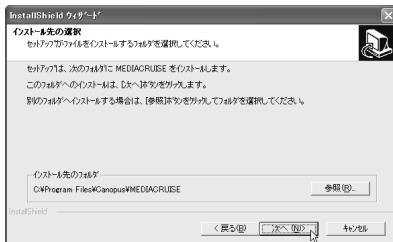
[次へ]をクリックしてください。



# 6

[次へ]をクリックしてください。

→ インストール先のフォルダを変更する場合は、[参照]をクリックし、フォルダを指定してください。

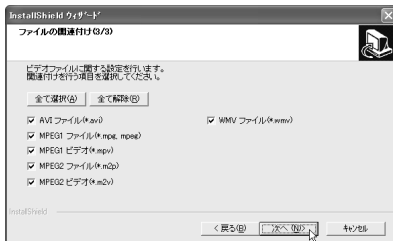
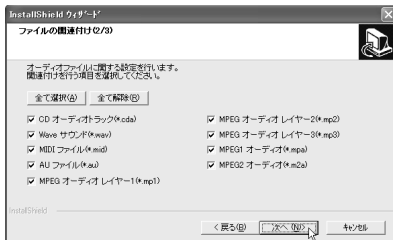


# 7

MEDIACRUISEに関連付けを行うアイテムを選択してください。

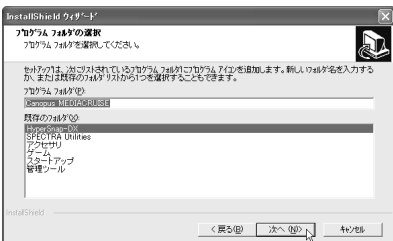
→ ディスク、オーディオファイルおよびビデオファイルのMEDIACRUISEへの関連付けを選択してください。次の項目の設定を行うには、[次へ]をクリックしてください。

※ 選択可能な項目は、お使いの環境により異なります。



# 8

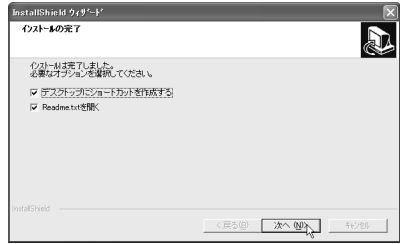
MEDIACRUISEのアイコンを登録するフォルダを選択後、[次へ]をクリックしてください。



9

インストールオプションを選択し、[次へ]をクリックしてください。

→ 選択するオプションにチェックを付けてください。



Readme.txtには、マニュアルに記載されていない事項が記載されていますので、インストール時に必ずお読みください。

10

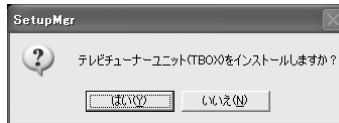
[完了]をクリックしてください。



以上でMEDIACRUISEのインストール作業は終了です。



一括インストールを行っている場合は次の画面が表示されます。『MTV2200 SX Light』をお使いの場合で、TBOX(オプション)をお持ちで無い方は[いいえ]をクリックしてください。



## TBOXのインストール

TBOXをインストールします。『SetupMgr.exe』からインストールしている場合は、手順1～4は必要ありません。ここでは、Windows XP環境へのインストールを例に説明します。

- ※ Windows 2000/Windows XP環境へインストールする場合は、システム設定の変更を行える資格を持つユーザーID(Administrator、コンピュータの管理者等)でログインしてください。
- ※ インストール作業を開始する前に、現在起動しているすべてのアプリケーションや常駐ソフトウェアを終了してください。

### 1

『MTV Series Drivers & Utilities CD』をCD-ROMドライブにセットしてください。

※ ここではCD-ROMドライブをE:ドライブとして説明します。



Important

TBOXのインストールが終了するまで、『MTV Series Drivers & Utilities CD』をCD-ROMドライブから取り出さないでください。

### 2

[スタート]メニューから[マイコンピュータ]を選択してください。

※ Windows Me/Windows 2000環境では、[スタート]メニューから[プログラム]→[アクセサリ]→[エクスプローラ]と進んで、『エクスプローラ』を起動します。

### 3

CD-ROMを挿入したドライブ(E:ドライブ)を選択して開いてください。

### 4

[TBOX]フォルダ内の[Setup.exe]をダブルクリックしてください。

→ インストール作業についての画面が表示されます。

### 5

[次へ]をクリックしてください。

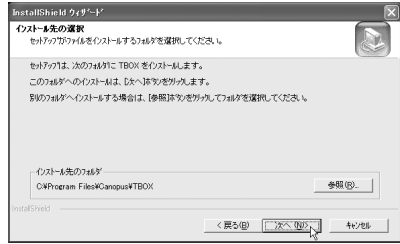




6

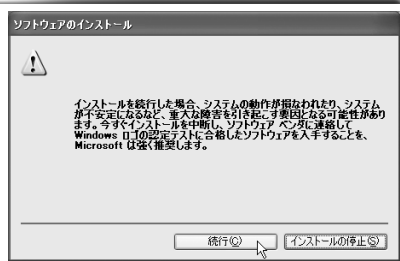
[次へ]をクリックしてください。

→ インストール先のフォルダを変更する場合は、[参照]をクリックし、フォルダを指定してください。



7

[続行]をクリックします。



8

[完了]をクリックしてください。



以上でTBOXのインストール作業は終了です。

## MTV2200 SX Seriesアプリケーションのインストール

MTV2200 SX Seriesアプリケーションをインストールします。『SetupMgr. exe』からインストールしている場合は、手順1～4は必要ありません。ここでは、Windows XP環境へのインストールを例に説明します。

- ※ Windows 2000/Windows XP環境へインストールする場合は、システム設定の変更を行える資格を持つユーザーID(Administrator、コンピュータの管理者等)でログインしてください。
- ※ インストール作業を開始する前に、現在起動しているすべてのアプリケーションや常駐ソフトウェアを終了してください。

### 1

『MTV Series Drivers & Utilities CD』をCD-ROMドライブにセットしてください。

※ ここではCD-ROMドライブをE:ドライブとして説明します。



Important

MTV2200 SX Seriesアプリケーションのインストールが終了するまで、『MTV Series Drivers & Utilities CD』をCD-ROMドライブから取り出さないでください。

### 2

[スタート]メニューから[マイコンピュータ]を選択してください。

※ Windows Me/Windows 2000環境では、[スタート]メニューから[プログラム]→[アクセサリ]→[エクスプローラ]と進んで、『エクスプローラ』を起動します。

### 3

CD-ROMを挿入したドライブ(E:ドライブ)を選択して開いてください。

### 4

[MTV]フォルダ内の[Setup. exe]をダブルクリックしてください。

→ インストール作業についての画面が表示されます。

### 5

[次へ]をクリックしてください。



## 6

[次へ]をクリックしてください。

→ インストール先のフォルダを変更する場合は、[参照]をクリックし、フォルダを指定してください。



## 7

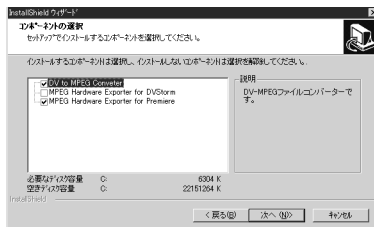
インストールするコンポーネントを選択し、[次へ]をクリックしてください。



DV to MPEG Converter は、DV 形式の AVI ファイル(たとえば当社製 EZDV、DVRaptor、DVStorm-RT シリーズ等のデジタルビデオカメラの映像を編集する製品のビデオファイル)を MPEG ファイルに変換するソフトウェアです。

MPEG Hardware Exporter for DVStorm は、当社製 DVStorm-RT シリーズに含まれるビデオ編集ソフトウェア「StormEdit」で、タイムラインを MPEG ファイルにエンコードする際に MTV2200 SX Series のハードウェアを使用できるようにするためのプラグインソフトウェアです。DVStorm-RT がインストールされていない場合は選択することができません。

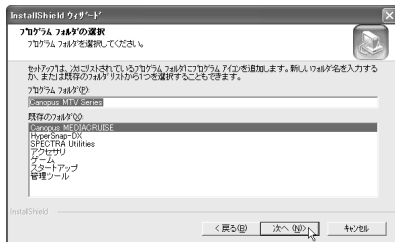
MPEG Hardware Exporter for Premiere は、アドビ社製ビデオ編集ソフトウェア「Premiere 5.1」または「Premiere 6.0」で、タイムラインを MPEG ファイルにエンコードする際に MTV2200 SX Series のハードウェアを使用できるようにするためのプラグインソフトウェアです。Premiere 5.1/6.0 がインストールされていない場合は選択することができません。



## 8

MTV2200 SXのアイコンを登録するフォルダを選択後、[次へ]をクリックしてください。

→コピーを開始します。



## 9

ビデオ規格を選択し、[次へ]をクリックしてください。

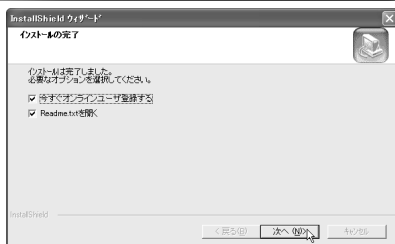
※ 国内で使用されている放送規格はNTSCです。



## 10

必要なオプションを選択し、[次へ]をクリックしてください。

→ 選択するオプションにチェックを付けてください。



Readme.txtには、マニュアルに記載されていない事項が記載されていますので、インストール時に必ずお読みください。

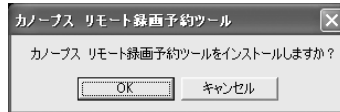


インターネットに接続できる環境であれば、ユーザー登録をオンラインで行えます。

[完了]をクリックしてください。



一括インストールを行っている場合は次の画面が表示されます。『MTV2200 SX Light』をお使いの場合で、TBOX(オプション)をお持ちで無い方は[キャンセル]をクリックしてください。[キャンセル]をクリックすると、p. 41の『Important』の画面が表示されます。



以上でMTV2200 SX Series アプリケーションのインストール作業は終了です。

## CiRAgentのインストール

リモート録画予約ソフト「CiRAgent」をインストールします。『SetupMgr.exe』からインストールしている場合は、手順1～4は必要ありません。ここでは、Windows XP環境へのインストールを例に説明します。

- ※ Windows 2000/Windows XP環境へインストールする場合は、システム設定の変更を行える資格を持つユーザーID(Administrator、コンピュータの管理者等)でログインしてください。
- ※ インストール作業を開始する前に、現在起動しているすべてのアプリケーションや常駐ソフトウェアを終了してください。

### 1

『MTV Series Drivers & Utilities CD』をCD-ROMドライブにセットしてください。

※ ここではCD-ROMドライブをE:ドライブとして説明します。



CiRAgentのインストールが終了するまで、『MTV Series Drivers & Utilities CD』をCD-ROMドライブから取り出さないでください。

### 2

[スタート]メニューから[マイコンピュータ]を選択してください。

※ Windows Me/Windows 2000環境では、[スタート]メニューから[プログラム]→[アクセサリ]→[エクスプローラ]と進んで、『エクスプローラ』を起動します。

### 3

CD-ROMを挿入したドライブ(E:ドライブ)を選択して開いてください。

### 4

[CiRAgent]フォルダ内の[CiRAgent\_setup]をダブルクリックしてください。

→ インストール作業についての画面が表示されます。

### 5

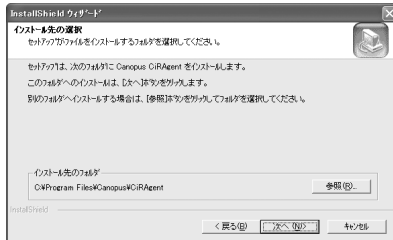
[次へ]をクリックしてください。



6

[次へ]をクリックしてください。

→ インストール先のフォルダを変更する場合は、[参照]をクリックし、フォルダを指定してください。



7

CiRAgentのアイコンを登録するフォルダを選択後、[次へ]をクリックしてください。



8

[完了]をクリックしてください。


**Important**

『アプリケーションの一括インストール』の場合、インストール作業が完了すると下の画面が表示されます。[OK]をクリックしてインストール作業を終了してください。



これで「CiRAgent」のインストールは終了です。  
ただし実際に使用される前に各設定を行う必要がありますので、次ページの「■CiRAgentの設定」を行ってください。

## ■ CiRAgent の設定

CiRAgent をインストールした後、各種設定を行います。

※ 本文中のアドレスは予告無く変更されることがあります。

**1**

インターネットで「テレビ王国」へ接続し、ユーザー登録をしてください。

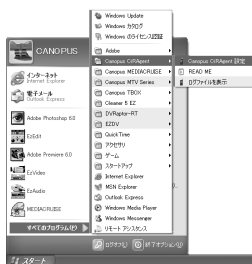
→ 「テレビ王国」のURLは「http://www.so-net.ne.jp/tv/」です。iモードをご使用になる場合のURLは「http://imode.so-net.ne.jp/tv/」です。

→ ユーザー登録の手順については、「テレビ王国」HPのTOPページにある「テレビ王国メンバーサービスとは」をご覧ください。

**2**

[スタート]メニューから[すべてのプログラム]へ進み、[Canopus CiRAgent]から[Canopus CiRAgent 設定]を選択してください。

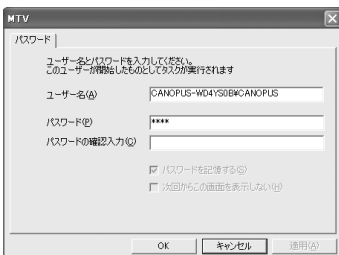
※ Windows Me/Windows 2000 環境では、[スタート]メニューから [プログラム]へ進み、[Canopus CiRAgent]から[Canopus CiRAgent 設定]を選択します。


**3**

ユーザー名とパスワード、パスワードの確認入力を入力し、「OK」をクリックしてください。

→ 「TV録画予約ツール画面」が表示されます。

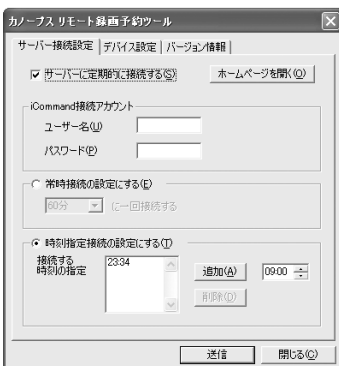
MTV 予約録画での設定内容を共有するため、MTV 予約録画で設定していると設定画面は表示されません。MTV の設定を変更したときは、「Canopus CiRAgent 設定」を一度起動してください。


**4**

「サーバ接続設定」タブをクリックし、サーバ接続に関する設定を行います。

### 時間指定接続の設定にする

指定する時間の0分には、1～9のいずれかが設定できません。





「デバイス設定」タブをクリックし、デバイス設定に関する設定を行います。



#### タスクスケジューラを使用する

Windows 2000、Windows XPでタスクスケジューラを使用するときには、ユーザー名とパスワードが必要です。

CiRAgentの定期的な接続には、Windows Meはタスクスケジューラを使用します。

Windows 2000、Windows XPはサービスとして動作します。ただし、ダイアルアップ環境では、タスクスケジューラを使用する必要があります。

#### ログインにチェックを行う

タスクスケジューラを使用する場合、スタートアップでサーバーへの接続を行うことができます。この設定を行わない場合、再起動時にサーバーから得られる「次回接続時間」の情報が古いままになります。この情報は、一度サーバーへの接続が行われたときに更新されます。

なお、タスクスケジューラを使用しない場合は、サービス起動後数分以内に自動的に接続を行います。

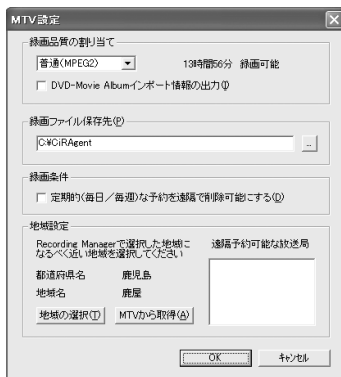
### デバイス設定

「デバイス設定」をクリックすると、右の画面が表示されます。

#### 地域選択

選択できる地域は、MTV2200 SXで選択可能な地域とは異なります。

地域が選択肢がない場合は、近い地域を選択します。



**Important**

サーバー側に情報が残っている状態で地域を変更した場合、一時的に処理が出来なくなることがあります。必ず、サーバー側に情報が残っていないことを確認してから変更してください。



## オプション

「オプション」をクリックすると、右の画面が表示されます。



6

設定後は「OK」をクリックし、その後は画面の指示に従って設定してください。

以上で、CiRAgentの設定は完了です。



設定後は、正しく予約・録画できるかをテストしてください。予約録画方法は、ユーザズガイドをご覧ください。

## 2. インストール後の確認

ドライバ、アプリケーションのインストールを完了し、再起動後にドライバが正常にインストールされたか確認してください。

### 確認の手順

#### ■ インストール後の確認 (Windows Me の場合)

1

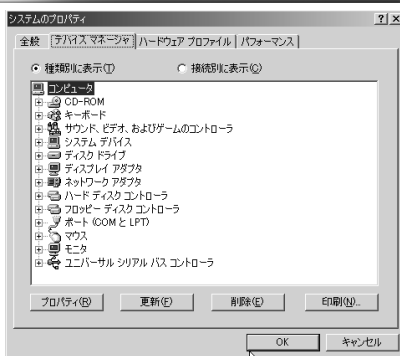
[スタート]メニューから[設定]→[コントロールパネル]へ進み、[システム]のアイコンをダブルクリックしてください。

→ [システムのプロパティ]が表示されます。

※「すべてのコントロールパネルを表示する」をクリックすると[システム]が表示されます。

2

システムのプロパティの[デバイスマネージャ]タブを選択し、[種類別に表示]のラジオボタンにチェックが入っていることを確認してください。



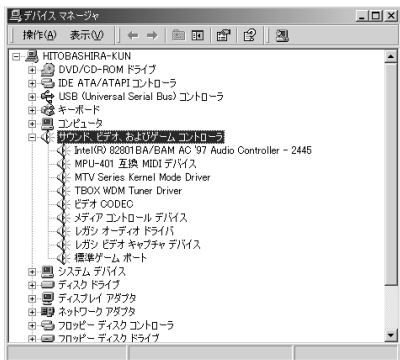
3

[サウンド、ビデオ、およびゲームのコントローラ]をダブルクリックしてください。

→ [MTV Series Kernel Mode Driver]や[TBOX WDM Tuner Driver]の頭に『!』や『×』のマークが表示されている場合、MTV 2200 SX SeriesおよびTBOXのドライバが正常にインストールされていません。

TBOXはMTV2200 SX Lightでは表示されません。

※ 再インストール、リソース問題の解決やボード差し位置の変更などをお試しください。

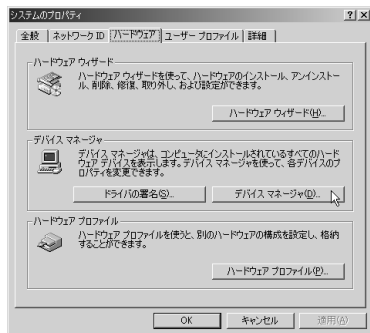


## ■ インストール後の確認(Windows 2000の場合)

1

[スタート]メニューから[設定] → [コントロールパネル]へ進み、[システム]のアイコンをダブルクリックしてください。

→ [システムのプロパティ]が表示されます。[ハードウェア]タブを選択し、[デバイス マネージャ]をクリックしてください。



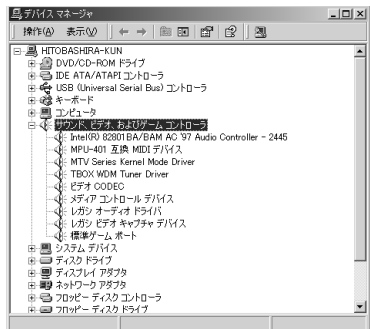
2

[サウンド、ビデオ、およびゲームコントローラ]をダブルクリックしてください。

→ [MTV Series Kernel Mode Driver]や[TBOX WDM Tuner Driver]の頭に『!』や『×』のマークが表示されている場合、MTV 2200 SX SeriesおよびTBOXのドライバが正常にインストールされていません。

TBOXはMTV2200 SX Lightでは表示されません。

※ 再インストール、リソース問題の解決やボード差し位置の変更などをお試しください。



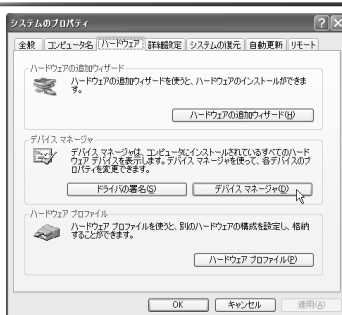
## ■ インストール後の確認 (Windows XP の場合)

**1**

[スタート]メニューの[コントロールパネル]から[パフォーマンスとメンテナンス]へ進み、[コンピュータの基本的な情報を表示する]を選択してください。もしくは[スタート]メニューのマイコンピュータ上で右クリックし、[プロパティ]を選択してください。

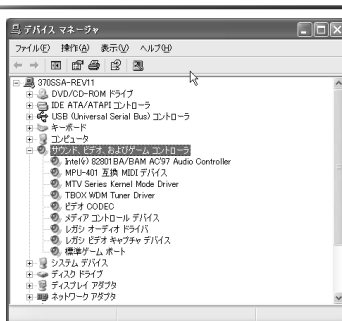
**2**

[ハードウェア]タブを選択し、[デバイス マネージャ]をクリックしてください。


**3**

[サウンド、ビデオ、およびゲームコントローラ]をダブルクリックしてください。

→ [MTV Series Kernel Mode Driver]や[TBOX WDM Tuner Driver]の頭に『!』や『×』のマークが表示されている場合、MTV2200 SX SeriesおよびTBOXのドライバが正常にインストールされていません。TBOXはMTV2200 SX Lightでは表示されません。



※ 再インストール、リソース問題の解決やボード差し位置の変更などをお試しください。

## リソース

### ■ リソースの競合の確認

p. 7[■割り込み (IRQ)の確認 (Windows Meの場合)]およびp. 8[■割り込み (IRQ)の確認 (Windows 2000の場合)], p. 9[■割り込み (IRQ)の確認 (Windows XPの場合)]の手順を参照し、IRQの一覧を表示してください。競合もしくは共有 (IRQ番号が同じ) しているデバイス類がないか確認してください。

### ■ リソース (割り込み) の変更

MTV2200 SX Seriesおよびテレビチューナーユニット (TBOX)と他のデバイス類のリソースが競合もしくは共有している場合、正常動作しないことがあります。以下の方法をお試しください。

- 割り込みを共有する他の機器を取り外すか、他の機器のIRQの変更を行ってください (IRQステアリングフォルダとの共有は問題ありません)。
- パソコン本体 (マザーボード) のBIOSでリソースの設定を変更してください。BIOSの設定方法は各メーカーによって異なりますので、パソコン本体、マザーボードなどに付属の取扱説明書をご参照ください。



IRQの設定方法はパソコン、マザーボードなど各メーカーにより異なります。BIOSでPCIスロットごとに任意のIRQを割り当てるタイプや、特定のIRQをあらかじめ予約するタイプなどがあります。

# 3. アンインストール

MTV2200 SX Seriesのアプリケーションを使用しなくなった場合、アンインストールすることができます。アプリケーションのアップデートを行う場合は、アンインストール後に新しいアプリケーションのインストールを行うようにしてください。ここでは、Windows XP環境でのアンインストールを例に説明します。

- ※ アンインストール作業を開始する前に、現在起動しているすべてのアプリケーションや常駐ソフトウェアを終了してください。TV Recording Managerが起動している場合は終了してください。
- ※ Windows 2000/Windows XP 環境へアンインストールする場合は、システム設定の変更を行える資格を持つユーザーID(Administrator、コンピュータの管理者等)でログオンしてください。

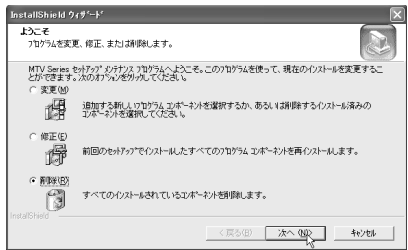
**1** [スタート]メニューから[マイコンピュータ]へ進み、システムのタスクから[プログラムの追加と削除]をクリックしてください。

**2** 削除できるソフトウェアの一覧が表示されますので、[MEDIA-CRUISE]、[TBOX Utilities](インストールしている場合)、[Canopus CiRAgent](インストールしている場合)、または[MTV Series]を選択し、[変更と削除]をクリックしてください。

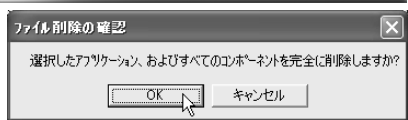


※ ここでは[MTV Series]を選択した場合について説明します。[MEDIACRUISE]または[TBOX Utilities]を選択した場合も手順はほとんど同じです。

**3** [削除]を選択し、[次へ]をクリックしてください。

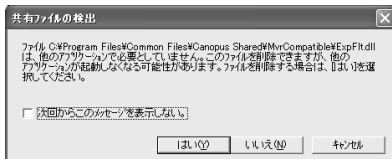


**4** ファイル削除確認のメッセージが表示されますので、[OK]をクリックしてください。  
→ アンインストールを開始します。





アンインストール中に[共有ファイルの検出]画面が表示された場合は、[はい]をクリックしてください。



5

[完了]をクリックしてください。



6

[閉じる]をクリックしてください。

→ アンインストールは完了です。



アンインストールを行っても録画予約の内容は削除されませんが録画はできません。



## 第4章

### TBOX Control

この章では、チューナーコントロールアプリケーションTBOX Control について説明します。

1. TBOX Control の機能 52 ページ

通常、MTV2200 SXとテレビチューナーユニット（TBOX）を接続して使用する場合、TBOX Controlを起動する必要はありません。ただし、TBOX Controlの [TBOX設定] タブで行う設定のみ、MEDIACRUISEから設定することができません。他の設定はMEDIACRUISEから設定することができます。



# 1. TBOX Controlの機能

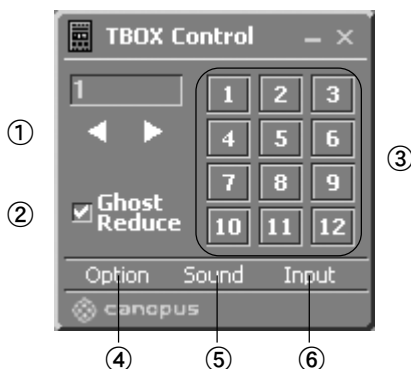
## TBOX Controlを起動する

[スタート]メニューから[すべてのプログラム]→[Canopus TBOX]と進んで、『TBOX Control』を選択してください。

※ Windows Me/Windows 2000環境では、[スタート]メニューから[プログラム]→[Canopus TBOX]と進んで、『TBOX Control』を選択します。

## TBOX Controlの各部の名称と機能

TBOX Controlの各部分の名称と機能について説明します。



### ① チャンネル切り替えボタン

チャンネルボタン割当て一覧に登録されているチャンネルを切り替えます。

### ② Ghost Reduce チェックボタン

チェックを付けるとゴーストを軽減するゴーストリデューサー機能が働きます。

### ③ チャンネルボタン

チャンネルボタン割当て一覧に登録されているチャンネルを切り替えます。

### ④ Option ボタン

オプション設定のサブメニューを表示します。画面左上のリモコンアイコンをクリックしても表示できます。

### ⑤ Sound ボタン

音声の形式を切り替えるサブメニューを表示します。

### ⑥ Input ボタン

ビデオ入力を切り替えるサブメニューを表示します。

## TBOX Controlの終了

TBOX Controlの[Option]をクリックし、サブメニューから[終了]を選択してください。  
TBOX Control 右上にある[×]ボタンをクリックすることでも終了できます。

Memo

### ゴーストリデューサー機能について

ゴーストリデューサー機能は、ゴーストを低減するための機能で除去するものではありません。

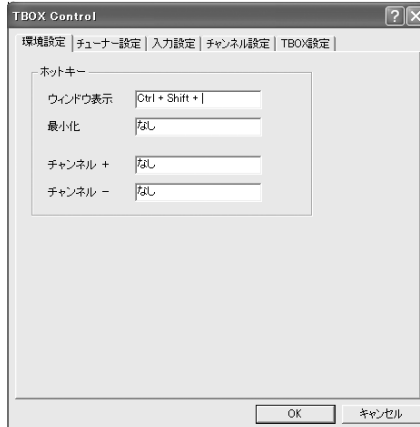
ゴースト除去用の信号が正常に受信できないような地域では効果が無い場合があります。また、10個以上のゴーストに関しては原理的に軽減できません。最初にゴーストリデューサー機能が働くまで1～2秒かかり、信号の遅延と減衰の解析を終えるまでには1分程度かかります。チャンネルを切り替えるたびにこの動作を繰り返します。

## Option設定で使用するタブについて

[Option]のサブメニュー→[設定]を選択した場合に表示される画面について、説明します。

### 環境設定タブ

ホットキーに割り当てを行う設定タブです。各ホットキーのボックスにカーソルを合わせ、設定したいキーボードのキーを押してください。設定完了後、[OK]をクリックすると設定画面を閉じます。





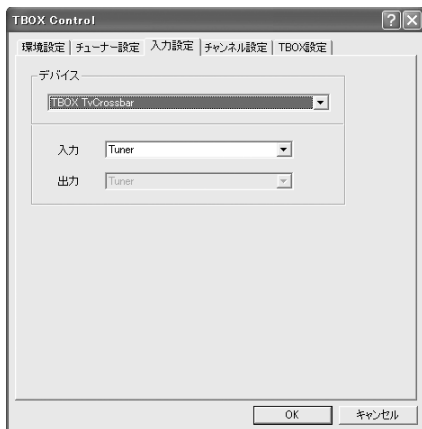
## チューナー設定タブ

チューナーに関する設定タブです。デバイスおよびチューナー設定は、通常使用においてデフォルトから変更する必要はありません。音声設定は、環境にあわせてプルダウンメニュー(▼ボタンをクリック)から選択してください。設定完了後、[OK]をクリックすると設定画面を閉じます。



## 入力設定タブ

入力に関する設定タブです。TBOX使用時は、デバイスを[TBOX TVCrossbar]に設定してください。[入力]は、TBOXの入力ソースを切り替えます。プルダウンメニュー(▼ボタンをクリック)から選択してください。設定完了後、[OK]をクリックすると設定画面を閉じます。



## チャンネル設定タブ

チャンネルに関する設定タブです。チャンネル一覧から12個のチャンネルボタンに放送局を割り当てます。



## TBOX設定タブ

チューナーの音質(音量・低音・高音・左右バランス)および感度に関する設定タブです。スライダもしくは数値の横にある▲▼ボタンを使用して設定してください。チューナー感度は自動設定されます(設定された状態が0となります)が、増幅もしくは減衰が必要な場合(例:お住まいの地域の電波が強すぎる場合はマイナス方向に設定します)に使用します。設定値をデフォルト値に戻す場合は、各設定の[初期値]ボタンをクリックしてください。[終了時に音声出力を止める]にチェックを付けると、TBOX Control 終了時に音声の出力を停止します。設定完了後、[OK]をクリックすると設定画面を閉じます。



## チャンネルの設定

TBOX Controlの初回起動時に、地域別のプリセットを利用して放送があるチャンネルや放送局名を設定します。受信チャンネルの中から12個のチャンネルボタンに割り当てを行います(プリセット設定から任意に変更できます)。

p. 52『TBOX Controlを起動する』を参照し、TBOX Controlを起動してください。

1

[Option]をクリックし、メニューから[設定]を選択してください。



2

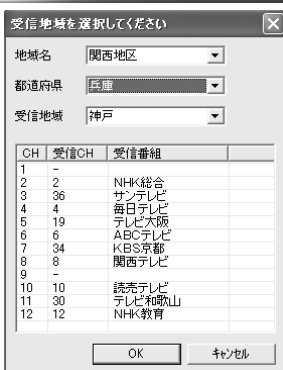
[地域設定]をクリックしてください。



3

地域名、都道府県および受信地域をプルダウンメニューから選択し、[OK]をクリックしてください。

※ もし、お住まいのエリアが見つからない場合や、受信エリア番組リストの内容が実際に放送されているものと一部異なる場合は、できるだけ内容の近い地域を選択してください。



# 4

チャンネルの設定が完了したら  
[OK]をクリックしてください。

→ 12個のチャンネルボタンに、プ  
リセットチャンネルが割り当て  
られます。この割り当ては、後か  
ら変更できます。



## テレビを見る

p. 52『TBOX Control を起動する』を参照し、TBOX Control を起動してください。

# 1

チャンネル切り替えボタンもしくは  
12個のチャンネルボタンを使用し、  
お好みのチャンネルに合わせてくだ  
さい。

→ オーバーレイウィンドウで選択した受信  
チャンネルの映像が表示されます。



### 受信チャンネルが表示されない場合

テレビチューナーユニットとお使いの映像入力デバイス(例: キャプチャカード)との接続をご確認ください。チューナーからの映像出力は、テレビチューナーユニットとのコンポジット接続時のみ行えます。

TBOX Control のOption 設定の入力設定もしくは、Input 設定が [Tuner] に設定されていることをご確認ください。

## チャンネルボタンの割り当てを変更

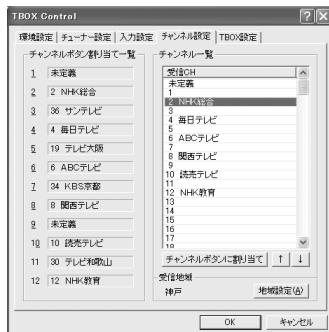
12個のチャンネルボタンにプリセットで割り当てられた設定は変更することができません。ここでは、例としてプリセット設定で[2]に割り当てられた放送局を[1]に割り当て、[2]を未定義に割り当てる手順を説明します。

p. 56『チャンネルの設定』を参照し、TBOX Control の設定画面を表示してください。

### 1

受信CHリストからチャンネルボタン[2]に割り当てられた放送局をクリックしてください。

※ マウスカーソルで指定する以外にも↑↓ボタンでリスト内を移動させることができます。



### 2

[チャンネルボタンに割り当て]をクリックし、表示されたメニューから[1]を選択してください。





3

チャンネルボタン割り当て一覧の[1]の部分に変更されたことを確認してください。



4

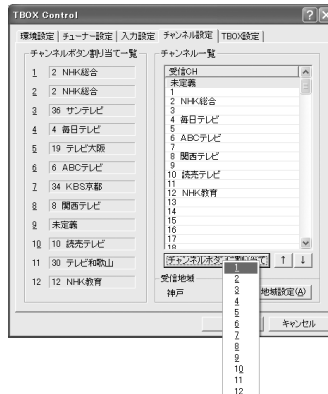
受信CHリストから[未定義]をクリックしてください。

※ マウスカーソルで指定する以外にも  
↑ ↓ ボタンでリスト内を移動させる  
ことができます。



5

[チャンネルボタンに割り当て]をクリックし、表示されたメニューから[2]を選択してください。



チャンネルボタン割り当て一覧の  
[2]の部分に変更されたことを確認  
してください。

